

キャラクター名  
野村雅仁 (のむら まさひと)

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン ブラックドッグ		ワークス	UGN支部長C	カヴァー	喫茶店店長
	オプション		年齢	28	性別	男
覚醒	渴望	衝動	飢餓	初期侵食率	31	%
出自	疎まれた子	経験	死別	邂逅	仲間	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	31
肉体	2	0	0			2	行動値	9
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	9
精神	4	1	2			7	戦闘移動	14
社会	1	0	0			1	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	4		RC	1		交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	1	
運転:			芸術:			知識:レネゲイド	2		情報:UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
フォールンピストル	射撃	7r+4		8		リアクションのC値+1、シナリオ3回

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
コネ:UGN諜報部 思い出の一品		ロイス			
		対象	感情(pos)	感情(neg)	タイマス
		Dロイス/指導者	P	N	
		久武誠護	P 信頼	N 不安	
		「副支部長」	P 懐旧	N 偏愛	
		Dロイス/秘密兵器	P	N	
			P	N	
			P	N	
			P	N	
		最大財産P:	4	残り財産P:	

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
生き字引	1							
効果: 情報を意志で判定、ダイス+LV								
コントロールソート	1							
効果: 精神で射撃								
バリアクラッカー	1						80↑	
効果: ガード不可、装甲無視								
勝利の女神	3						100↑	
効果: 達成値+LV×3、ラウンド1回								
スタンボルト	1							
効果: ダメージで放心								
電磁バリア	1							
効果: 対象のダメージ-[1d+LV×2]								
ファンアウト	1							
効果: 対象を戦闘移動、LV回								
ひらめきの盾	2						80↑	
効果: 対象へのダメージ-10、LV回								
コンセントレイト・ノイマン	2							
効果: C値-LV								
知識の泉	1							
効果: 【精神】ダイス+LV+1 戦闘中不可								
暗号解読	★							
効果:								
構造看破	★							
効果:								
写真記憶	★							
効果:								

郊外の一都市、K市の支部長を務める彼は、多くの情報に精通している。そしてその情報こそが、彼の支部長たる所以にして、最大の武器である。誰も知りえない情報の察知、そして深い理解と的確で迅速な判断。どんな危機であろうと、先回りして対処できれば恐れることはない。情報、知識、知恵を駆使し、日常を守る彼を誰かが、誓の守り人と呼んだ。

彼の性格はいたって温厚で、物腰も柔らかく、口調も丁寧。部下や仲間への理解が非常に深く、本人は謙遜しているが、多くの構成員から慕われている。教育者、指導者としての才を見込まれ、彼より年上のエージェントも含め、多くの人物が彼の支部で経験を積み、巣立ってきた。

そんな彼の支部には空席の役職がある。それは「副支部長」。今の支部で、なぜ副支部長がこの支部にいないのかを知っているのは、彼の数年来の部下であり、仲間である久武誠護を除けば、誰一人としていない。語ろうとしないからだ。

「副支部長」は彼にとって、オーヴァードとしての生の始まりでもあり、信頼する仲間であり、深い理解者であり、背中を預けられる唯一無二の相棒であり、誰よりも大切な存在だった。けれどFHとの戦いで、「副支部長」は彼の前から姿を消した。死んだのか、ジャームとなったのか、それさえも判然としないまま、けれど決して彼女は戻ってくることはなかった。彼は彼女の帰りを待ち続けるように、今でも副支部長の椅子を開け続けている。

現在、彼にとって最も信頼を寄せる仲間は、「副支部長」が姿を消すよりも前から付き合いのある、久武誠護である。

